

# 伊 勢 市 公 報

第 328 号  
令和元年 7 月 5 日  
金 曜 日

## 目 次

	頁
<b>告 示</b>	
○ 平成 30 年度下半期の伊勢市病院事業、水道事業及び下水道事業の業務の状況について	2
○ 認可地縁団体の告示事項の変更について	20
○ 認可地縁団体の告示事項の変更について	21
○ 確認を行った特定教育・保育施設について	22
○ 特定地域型保育事業者の確認の辞退について	23
○ 特定教育・保育施設の確認の辞退について	24
○ 認可地縁団体の告示事項の変更について	25
○ 地籍調査の実施について	26
○ 指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者の指定について	27
○ 平成 31 年度一般廃棄物処理実施計画の策定について	29
<b>選挙管理委員会告示</b>	
○ 参議院議員通常選挙関係	
・ 投票記載所における氏名等掲載順序のくじを行う日時及び場所について	30
・ 不在者投票用紙等の交付場所について	31
・ 選挙人名簿登録の移替えの延期について	32
・ 郵便をもって投票用紙等を発送する日を定めることについて	33
・ 開票の日時及び場所について	34
<b>公 告</b>	
○ 伊勢市農業振興地域整備計画の変更について	35

伊勢市告示第 21 号

平成 30 年度下半期の伊勢市病院事業、水道事業及び下水道事業の  
業務の状況について

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定に  
より、平成 30 年 10 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの伊勢市病院事業、  
水道事業及び下水道事業の業務の状況を次のとおり公表します。

令和元年 6 月 17 日

伊勢市長 鈴木 健 一

## 平成 30 年度下半期伊勢市病院事業の業務状況

### 1. 事業の概況

平成 25 年 3 月に策定した「新市立伊勢総合病院建設基本計画」に基づき新病院建設事業を進めておりましたが、平成 30 年 9 月に建設工事が完成し、平成 31 年 1 月に開院しました。

#### (1) 業務状況

入院延患者数は、前年同期比 2.8%増の 37,074 人（29 年度下半期 36,058 人）、外来延患者数は、前年同期比（△）1.4%減の 61,385 人（29 年度下半期 62,271 人）、健診者数は、前年同期比（△）13.1%減の 6,750 人（29 年度下半期 7,765 人）となりました。

#### (2) 収益的収支の状況（金額は消費税抜き）

総収益は 3,844,305 千円、総費用は 5,572,078 千円となり、当期純損失は 1,727,773 千円となりました。

収益の内訳は、医業収益 2,641,163 千円、健診収益 132,722 千円、医業外収益 639,702 千円（うち他会計負担金 9,171 千円、他会計補助金 514,209 千円）、特別利益 430,718 千円となっております。

費用の内訳は、医業費用 3,622,820 千円、健診費用 77,860 千円、医業外費用 871,387 千円、特別損失 1,000,011 千円となっております。

#### (3) 資本的収支の状況（金額は消費税込み）

収入総額 8,545,079 千円、支出総額 4,564,932 千円の事業執行となりました。

収入の内訳は、他会計負担金△31,620 千円、企業債 6,424,800 千円、寄附金 23,764 千円、出資金 1,477,500 千円、国庫補助金 249,318 千円、基金繰入金 56,100 千円、投資償還金 8,160 千円、固定資産売却代金 35,869 千円、他会計補助金 300,000 千円、県補助金 1,188 千円となっております。

支出の内訳は、建設改良費 4,352,579 千円（資産購入費 95,268 千円、委託費 17,199 千円、新病院建設事業費 4,225,155 千円、給与費 14,957 千円）、企業債償還金 82,065 千円、投資 27,780 千円、基金積立金 102,508 千円となっております。

また、新病院建設事業の駐車場整備工事及び解体工事等として、資本的収入において 926,199 千円、資本的支出において 948,437 千円を翌年度に繰り越しました。

以上が平成 30 年度下半期の概要であります。

## 2. 職員に関する事項

(単位：人)

年 月 日	医 師	医療技術 職 員	看 護 (准) 師 1	事務職員	その他の 職 員	嘱 託	計
31.3.31	48	76 (1)	213 (2)	33 (1)	7	83	460 (4)
30.9.30	49	78 (1)	213 (3)	35 (1)	7	86	468 (5)

\* ( ) は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

### 3. 経理の状況

平成30年 4月 1日から  
平成31年 3月31日まで

#### (1) 平成30年度伊勢市病院事業予算執行状況 (単位：円)

区 分	予算額 (A)	執行額 (B)	予算残額	B/A (%)
(収益的収入)				
病院事業収益	7,245,380,000	7,300,685,142	△55,305,142	100.8
医業収益	5,331,473,000	5,348,257,244	△16,784,244	100.3
健診収益	306,923,000	318,002,273	△11,079,273	103.6
医業外収益	1,175,898,000	1,203,707,927	△27,809,927	102.4
特別利益	431,086,000	430,717,698	368,302	99.9
(収益的支出)				
病院事業費用	8,592,181,000	8,430,980,439	161,200,561	98.1
医業費用	6,453,009,000	6,399,979,238	53,029,762	99.2
健診費用	162,686,000	158,860,510	3,825,490	97.6
医業外費用	909,707,000	872,129,669	37,577,331	95.9
特別損失	1,065,779,000	1,000,011,022	65,767,978	93.8
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0
(資本的収入)				
資本的収入	10,503,488,000	9,366,159,406	1,137,328,594	89.2
負担金	153,940,000	153,940,000	0	100.0
企業債	7,187,300,000	6,424,800,000	762,500,000	89.4
寄附金	24,250,000	29,064,338	△4,814,338	119.9
出資金	2,335,700,000	2,106,400,000	229,300,000	90.2
国庫補助金	394,500,000	249,318,000	145,182,000	63.2
基金繰入金	63,000,000	56,100,000	6,900,000	89.0
投資償還金	8,640,000	9,480,000	△840,000	109.7
固定資産売却代金	34,970,000	35,869,068	△899,068	102.6
他会計補助金	300,000,000	300,000,000	0	100.0
県補助金	1,188,000	1,188,000	0	100.0
(資本的支出)				
資本的支出	10,863,909,000	9,777,045,334	1,086,863,666	90.0
建設改良費	10,534,638,000	9,454,674,363	1,079,963,637	89.7
企業債償還金	163,763,000	163,762,971	29	100.0
投資	63,000,000	56,100,000	6,900,000	89.0
基金積立金	102,508,000	102,508,000	0	100.0

平成30年 4月 1日から  
平成31年 3月31日まで

(2) 平成30年度伊勢市病院事業損益計算書

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	8,426,192,700	病院事業収益	7,250,674,955
医業費用	6,310,370,225	医業収益	5,338,841,333
給与費	3,861,061,344	入院収益	3,476,947,824
材料費	1,162,929,195	外来収益	1,709,274,522
経費	1,064,883,713	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	190,522,549	その他医業収益	102,748,987
資産減耗費	6,635,464	健診収益	295,792,805
研究研修費	24,337,960	健診収益	295,792,805
健診費用	156,017,259	医業外収益	1,185,323,119
給与費	108,459,997	他会計補助金	514,209,120
材料費	5,666,651	他会計負担金	478,762,000
経費	34,755,964	県補助金	5,048,000
減価償却費	7,134,647	国庫補助金	3,731,797
医業外費用	959,794,194	長期前受金戻入	102,759,847
支払利息及び 企業債取扱諸費	47,015,670	その他医業外収益	80,812,355
雑損失 (消費税雑損失)	879,416,716	特別利益	430,717,698
負担金	9,071,508	当期純損失	1,175,517,745
医業外雑費	24,290,300		
特別損失	1,000,011,022		
合 計	8,426,192,700	合 計	8,426,192,700

平成31年 3月31日

## (3) 平成30年度伊勢市病院事業貸借対照表

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	19,024,892,271	固定負債	14,193,120,508
有形固定資産	18,431,738,586	企業債	12,538,940,733
土地	1,593,480,222	建設改良等企業債	12,538,940,733
建物	12,512,817,881	引当金	1,654,179,775
減価償却累計額	△271,238,502	退職給付引当金	1,654,179,775
構築物	158,148,256	流動負債	1,623,969,659
減価償却累計額	△7,144,706	企業債	110,206,639
器械備品	4,764,565,350	建設改良等企業債	110,206,639
減価償却累計額	△905,105,762	未払金	1,275,313,196
車両	8,463,238	医業未払金	472,816,373
減価償却累計額	△5,926,378	その他未払金	802,496,823
建設仮勘定	583,678,987	引当金	235,625,000
無形固定資産	3,562,685	賞与引当金	199,028,000
電話加入権	3,562,685	法定福利費引当金	36,597,000
投資その他の資産	293,287,500	その他流動負債	2,824,824
長期貸付金	293,287,500	預り金	304,824
基金	296,303,500	預り保証金	2,520,000
基金	296,303,500	繰延収益	1,752,858,769
流動資産	1,647,657,805	長期前受金	2,289,872,408
現金預金	509,327,188	長期前受金収益化累計額	△537,013,639
現金	1,285,000	資本金	4,586,118,431
預金	508,042,188	剰余金	△1,483,517,291
未収金	1,110,526,088	資本剰余金	1,789,036,326
医業未収金	1,061,796,188	受贈財産評価額	145,324,995
医業外未収金	42,855,867	国庫補助金	46,876,000
未収消費税	15,697,890	他会計補助金	571,419,568
貸倒引当金	△9,823,857	工事負担金	53,395,358
貯蔵品	22,921,365	寄附金	112,486,500
薬品	15,271,444	補助金	2,008,000
診療材料	5,238,708	他会計負担金	857,525,905
その他貯蔵品	2,411,213	欠損金	3,272,553,617
前払費用	4,883,164	当年度未処理欠損金	3,272,553,617
合 計	20,672,550,076	合 計	20,672,550,076

#### 4. 令和元年度予算の概要と事業の経営方針

本年度の病院事業は、平成31年1月に開院した新病院で迎える初年度となります。新病院では、急性期医療及び救急医療を基本としながら、地域に必要とされる、地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床及びホスピス病床を最大限活用し、また、健診をはじめとした予防医学に取り組んでいきます。

事業運営は、業務予定量として、入院延患者数を93,330人（1日平均255人）、外来延患者数を127,400人（1日平均520人）、健診者数を15,259人（1日平均53人）で、前年度と比較して入院延患者数は17,205人（1日平均46人）の増加、外来延患者数は1,815人（1日平均7人）の増加、健診者数は603人（1日平均2人）の増加を予定しました。

収益的収支の状況は、総収益で7,560,253千円を予定し、主なものとして、入院収益4,077,423千円、外来収益1,783,600千円、健診収益333,701千円、他会計補助金300,000千円、他会計負担金484,995千円、総費用で8,024,234千円を予定し、主なものとして、給与費4,128,072千円、材料費1,261,573千円、経費1,310,872千円、減価償却費1,037,470千円としています。

資本的収支の状況は、総収入で338,975千円を予定し、主なものとして、他会計負担金147,027千円、企業債100,000千円、基金繰入金64,560千円、総支出で483,126千円を予定し、器械備品購入としての建設改良費238,029千円、企業債償還金110,207千円、医師及び看護師奨学金としての投資64,560千円、基金積立金70,330千円としています。

今後の運営は、新病院建設に伴う企業債償還金、減価償却費の増加等により、病院運営が厳しくなることが予測されますが、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、健全な病院経営に取り組んでいきます。



# 平成30年度 下半期伊勢市水道事業の業務状況

## 1 事業の概要

本市の水道事業は、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、老朽化した設備及び配水本管の更新、基幹管路の耐震化、下水道工事などに伴う配水本管布設替等の工事を実施してまいりました。

また、本年度が現行の水道事業基本計画の最終年度となることから、本市水道事業が現在抱える課題に対して、中長期的な視点から計画期間を10年間とする具体的な取り組みを示した「伊勢市水道事業ビジョン」を新たに策定・公表しました。

### (1) 業務量について

給水戸数は56,744戸で前年度より214戸増加し、有収率は89.4%で前年度に比し0.7ポイントの増加となりました。また、年間配水量は16,278,173<sup>m</sup>で前年度に比し1.57%の減少となり、有収水量は14,547,781<sup>m</sup>で前年度に比し0.80%の減少となりました。

### (2) 財政収支について

財政収支の状況は、収益的収支においては、消費税を除き収入額2,669,208,838円、支出額2,257,538,444円の執行となり、411,670,394円の純利益を生じ、積立金の目的使用により発生した478,231,926円の利益剰余金を含め、当年度未処分利益剰余金889,902,320円となりました。

一方、資本的収支においては、収入額317,244,263円、支出額2,082,452,804円の執行となり、建設改良費繰越財源1,965,600円を除くと、1,767,174,141円の収支不足となりましたが、損益勘定留保資金、建設改良積立金等で補填しました。

また、資本的収支の収入において397,494,000円、支出において710,000,000円を翌年度に繰り越しました。

### (3) 建設改良事業について

配水本管については、老朽管更新工事及び下水道工事等に伴う布設替工事等により、12.9kmの更新を行い、その内7.8kmの耐震化を行いました。

設備については計画的な更新を行っており、本年度は危機管理への対応の徹底を図るため中須水源地の非常用発電機の更新を行いました。

また、安定給水の確保を目的に送配水を分離するため、令和4年度の完成を目指し、南部配水池新設事業に着手しました。

以上が本年度における事業の概要であります。

本年度作成しました「伊勢市水道事業ビジョン」では、人口減少により給水収益の減少が見込まれる一方、老朽化を迎えた管路及び施設・設備の耐震化や更新を行う必要があることから、事業運営が厳しくなることが予測されています。

今後も独立採算制の堅持を第一目標とし、経費節減等を行い効率的で健全な事業の運営に努め、「水道事業ビジョン」の目標である「持続・安全・強靱」の実現を目指し、事業の推進に取り組んでいきます。

## 2 給水状況

### (1) 給水戸数と給水人口

区 分		H30.3.31	H31.3.31	増 減	前年比 (%)
上水道	給水戸数	56,473戸	56,691戸	218戸	100.4
	給水人口	126,213人	125,206人	△ 1,007人	99.2
簡易水道	給水戸数	57戸	53戸	△ 4戸	93.0
	給水人口	86人	81人	△ 5人	94.2

### (2) 給水収益(税込み)

(単位 千円)

区 分	調 定 額	収 入 額	収 入 率 (%)
上水道	2,525,237	2,458,557	97.4
簡易水道	1,277	1,228	96.2

### (3) 配水量と有収水量

(単位 m<sup>3</sup>)

区 分		平成29年度	平成30年度	増 減	前年比 (%)
上水道	配水量	16,524,053	16,262,686	△ 261,367	98.4
	有収水量	14,658,408	14,540,950	△ 117,458	99.2
	有収率 (%)	88.7	89.4	0.7	—
簡易水道	配水量	13,852	15,487	1,635	111.8
	有収水量	7,119	6,831	△ 288	96.0
	有収率 (%)	51.4	44.1	△ 7.3	—

## 3 職員に関する事項

(単位 人)

区 分	職 員	技能労務職員	嘱託職員	計
H30.9.30	(1)			(1)
	20	20	4	44
H31.3.31	(1)			(1)
	20	20	4	44

\* ( )は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

## 4 経理の状況

(単位 円)

(1) 平成30年度伊勢市水道事業予算執行状況		平成30年4月 1日 から 平成31年3月31日 まで		
区 分	予算額(A)	執行額(B)	予算残額	B/A (%)
(収益的収支)				
水道事業収益	2,850,419,000	2,860,943,907	△ 10,524,907	100.4
営業収益	2,565,650,000	2,569,070,052	△ 3,420,052	100.1
営業外収益	282,456,000	289,646,802	△ 7,190,802	102.5
簡易水道収益	2,313,000	2,227,053	85,947	96.3
水道事業費用	2,484,013,000	2,353,486,891	130,526,109	94.7
営業費用	2,331,385,000	2,230,466,621	100,918,379	95.7
営業外費用	130,429,000	112,557,096	17,871,904	86.3
簡易水道費用	12,199,000	10,463,174	1,735,826	85.8
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0.0
(資本的収支)				
資本的収入	690,890,000	317,244,263	373,645,737	45.9
企業債	354,100,000	117,100,000	237,000,000	33.1
負担金	294,990,000	187,344,263	107,645,737	63.5
出資金	41,800,000	12,800,000	29,000,000	30.6
資本的支出	2,839,740,000	2,082,452,804	757,287,196	73.3
建設改良費	2,299,415,000	1,542,127,921	757,287,079	67.1
投資	200,000,000	200,000,000	0	100.0
償還金	340,325,000	340,324,883	117	100.0

(単位 円)

(2)平成30年度伊勢市水道事業損益計算書		平成30年4月 1日 から 平成31年3月31日 まで	
		借 方	貸 方
水道事業費用	2,257,538,444	水道事業収益	2,669,208,838
営業費用	2,149,486,882	営業収益	2,380,595,857
原水費	758,010,172	給水収益	2,338,340,616
配水及び給水費	329,247,867	受託工事収益	2,961,300
受託工事費	10,872,802	その他営業収益	39,293,941
総係費	204,246,699	営業外収益	286,480,355
減価償却費	795,162,574	受取利息及び配当金	1,448,613
資産減耗費	51,946,768	長期前受金戻入	239,390,679
営業外費用	97,765,281	雑収益	8,727,063
支払利息及び 企業債取扱諸費	92,622,148	加入金	36,914,000
雑支出	5,143,133	簡易水道収益	2,132,626
簡易水道費用	10,286,281	給水収益	1,182,666
簡易水道費	10,286,281	長期前受金戻入	713,980
当期純利益	411,670,394	雑収益	235,980
合計	2,669,208,838	合計	2,669,208,838

(単位 円)

(3)平成30年度伊勢市水道事業貸借対照表		平成31年3月31日	
借 方		貸 方	
固 定 資 産	24,261,680,392	固 定 負 債	5,002,075,436
有 形 固 定 資 産	23,952,936,154	企 業 債	4,580,267,968
土 地	1,371,363,094	建設改良等企業債	4,580,267,968
建 物	773,516,564	引 当 金	421,807,468
減 価 償 却 累 計 額	△ 493,200,746	退 職 給 付 引 当 金	333,777,468
構 築 物	35,368,823,244	特 別 修 繕 引 当 金	88,030,000
減 価 償 却 累 計 額	△ 14,493,224,253	流 動 負 債	707,530,445
機 械 及 び 装 置	3,193,193,943	企 業 債	333,996,302
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,298,757,457	建設改良等企業債	333,996,302
車 両 運 搬 具	58,010,256	未 払 金	347,462,568
減 価 償 却 累 計 額	△ 40,251,833	貯 蔵 品 購 入 未 払 金	1,259,928
工 具、器 具 及 び 備 品	66,374,236	営 業 未 払 金	129,844,123
減 価 償 却 累 計 額	△ 45,627,400	営 業 外 未 払 金	12,723,100
建 設 仮 勘 定	492,716,506	そ の 他 未 払 金	203,635,417
無 形 固 定 資 産	108,744,238	預 り 金	1,095,345
施 設 利 用 権	75,256,080	預 り 金	1,095,345
ソ フ ト ウ ェ ア	33,488,158	引 当 金	24,976,230
投 資 そ の 他 の 資 産	200,000,000	賞 与 引 当 金	20,947,557
投 資 有 価 証 券	200,000,000	法 定 福 利 費 引 当 金	4,028,673
流 動 資 産	2,252,818,987	繰 延 収 益	5,217,568,323
現 金 預 金	2,066,082,964	長 期 前 受 金	10,888,247,189
現 金	60,000	長 期 前 受 金	10,888,247,189
預 金	2,066,022,964	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 5,670,678,866
未 収 金	220,487,619	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△ 5,670,678,866
営 業 未 収 金	200,609,471	資 本 金	14,674,293,610
営 業 外 未 収 金	1,045,500	自 己 資 本 金	14,674,293,610
そ の 他 未 収 金	18,832,648	固 有 資 本 金	33,622,511
貸 倒 引 当 金	△ 64,122,240	繰 入 資 本 金	1,468,670,100
貸 倒 引 当 金	△ 64,122,240	組 入 資 本 金	13,172,000,999
貯 蔵 品	30,370,644	剰 余 金	913,031,565
原 材 料	30,370,644	資 本 剰 余 金	23,129,245
		受 贈 財 産 評 価 額	23,129,245
		利 益 剰 余 金	889,902,320
		当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	889,902,320
合 計	26,514,499,379	合 計	26,514,499,379

## 5 令和元年度予算の概要と事業運営方針

本年度の水道事業は、安定給水の確保と有収率の向上を図り効率的な維持管理を行うため、老朽配水本管の布設替工事、配水本管の未整備地区への布設工事、下水道工事等に伴う配水本管布設替工事等を予定しました。

事業運営面では、給水戸数57,156戸を予定し、年間総給水量においては16,014千 $\text{m}^3$ を予定しました。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして消費税込み額で、水道料金等の営業収益2,545,718千円、営業外収益271,040千円、簡易水道収益2,267千円を合わせた水道事業収益2,819,025千円に対しまして、営業費用2,318,695千円、営業外費用120,862千円、簡易水道費用11,999千円、予備費10,000千円を合わせて水道事業費用2,461,556千円を見込み、その結果、差引消費税を除きますと、276,015千円の純利益が生じる見込みです。

資本的収支におきましては、収入については、企業債540,600千円、負担金171,616千円、出資金9,900千円を合わせて資本的収入722,116千円を予定しています。支出については、送配水管施設の新設及び更新、水源施設の更新、加圧施設・配水池設置等建設改良費1,537,516千円、企業債償還金341,897千円を合わせて資本的支1,879,413千円を予定しています。以上の結果、資本的収支におきまして1,157,297千円の不足となる予定ですが、過年度分損益勘定留保資金等で補填する見込みです。

今後の運営は、人口減少による給水収益の減少が続くなか、老朽配水本管並びに老朽施設の耐震化や更新、公共関連工事に伴う布設替等不可欠な事業を抱え、事業財政は厳しい状況であります。 「水道事業ビジョン」の目標である「持続・安全・強靱」の実現を目指し、事業の推進に取り組んでいきます。

## 平成30年度 下半期伊勢市下水道事業の業務状況

### 1 事業の概要

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として、流域関連公共下水道事業では第3期事業及び第4期事業にかかる汚水幹線築造及び管渠の面整備を行い、宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では、長寿命化計画に基づき五十鈴川中村浄化センターの更新を進めました。

雨水対策事業としては、雨水管理総合計画の策定、ポンプ場の長寿命化・耐震化を計画に沿って進めました。

維持管理業務においては、汚水処理場や雨水ポンプ場の適正管理を行うとともに、供用区域の水洗化に向けた地元説明会の開催や戸別訪問等による普及啓発に努めました。

#### (1) 普及状況について

平成30年度末における処理区域面積は1,780.6ha、処理区域内人口は67,721人で平成29年度末に比べそれぞれ、50.3ha、1,292人増加し、普及率は53.7%になりました。一方、水洗化人口は55,268人で平成29年度末に比して1,111人増加し、水洗化率は81.6%となりました。

#### (2) 業務量、収益的収支及び資本的収支について

平成30年度における業務量は、有収水量6,533,399m<sup>3</sup>、処理水量6,533,562m<sup>3</sup>となり、平成29年度末に比べそれぞれ、91,817m<sup>3</sup>、150,848m<sup>3</sup>増加しました。

本年度の収益的収支は、消費税を除き収入額3,496,777,805円、支出額3,290,252,047円の執行となり、206,525,758円の純利益を生じ、積立金の目的使用により発生した249,445,880円の利益剰余金を含め、当年度末処分利益剰余金455,971,638円となりました。

一方、資本的収支においては、収入額2,982,505,200円、支出額4,490,117,639円の執行となり、1,507,612,439円の収支不足となりましたが、繰越工事資金、損益勘定留保資金等で補填しました。

また、資本的収支の収入において1,688,750,000円、支出において1,796,240,000円を翌年度に繰り越しました。

#### (3) 建設改良事業及び整備状況について

下水道の整備については、流域関連公共下水道事業の第3期事業及び第4期事業にかかる汚水幹線築造及び管渠の面整備等を実施することにより処理区域の拡大を図るとともに、浸水対策等下水道施設の整備を進めました。

汚水整備事業としては、流域関連公共下水道区域において下水管渠を11,083m整備し、マンホールポンプを10箇所更新しました。また、宇治・中村特定環境保全公共下水道区域においては、下水管渠を20m整備し、五十鈴川中村浄化センターの長寿命化計画に基づき更新工事を進めています。

汚水管渠布設延長は、合計で435,321mとなりました。

雨水整備事業としては、都市部の浸水被害を防ぐため雨水管理総合計画を策定しました。また、ポンプ場の長寿命化・耐震化を図るため吹上、明神、桜橋第1、茶屋ポンプ場施設の更新工事を進めています。

以上が本年度における事業の概要であります。今後も汚水処理・雨水対策事業を推進するとともに、供用及び稼動区域においてはストックマネジメント計画を策定し、同計画に基づき、適正な維持管理に努めていきます。

汚水処理施設整備は、全体計画区域の見直しに着手し、事業計画区域においては供用区域の拡大を図り、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に取り組み、雨水施設整備では雨水管理総合計画に沿った浸水被害対策の整備を進めていきます。

## 2 下水道普及率

行政区域内人口 (A)	処理区域内人口 (B)	普及率 (B/A)
126,060人	67,721人	53.7%

## 3 職員に関する事項

(単位 人)

区 分	職員	技能労務職員	嘱託職員	計
H30. 9. 30	(1) 28	5	5	(1) 38
H31. 3. 31	28	5	5	38

\* ( )は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

## 4 経理の状況

(単位 円)

(1)平成30年度伊勢市下水道事業予算執行状況		平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで		
区 分	予算額(A)	執行額(B)	予算残額	B/A (%)
(収益的収支)				
下水道事業収益	3,697,456,000	3,673,700,303	23,755,697	99.4
営業収益	1,367,793,000	1,361,624,955	6,168,045	99.5
営業外収益	2,329,663,000	2,310,335,349	19,327,651	99.2
特別利益	0	1,739,999	△ 1,739,999	-
下水道事業費用	3,427,760,000	3,338,977,935	88,782,065	97.4
営業費用	2,874,274,000	2,797,110,930	77,163,070	97.3
営業外費用	543,486,000	541,867,005	1,618,995	99.7
予備費	10,000,000	0	10,000,000	0.0
(資本的収支)				
資本的収入	4,944,132,000	2,982,505,200	1,961,626,800	60.3
企業債	3,073,400,000	1,693,100,000	1,380,300,000	55.1
負担金	321,482,000	326,005,200	△ 4,523,200	101.4
国庫補助金	1,549,250,000	963,400,000	585,850,000	62.2
資本的支出	6,598,143,000	4,490,117,639	2,108,025,361	68.1
建設改良費	5,235,177,000	3,128,551,741	2,106,625,259	59.8
企業債償還金	1,361,416,000	1,361,414,598	1,402	100.0
受益者負担金返還金	550,000	0	550,000	0.0
諸支出金	1,000,000	151,300	848,700	15.1



(単位 円)

(2)平成30年度伊勢市下水道事業損益計算書		平成 30年 4 月 1 日 から 平成 31年 3 月 31 日 まで	
		借 方	貸 方
下水道事業費用	3,290,252,047	下水道事業収益	3,496,777,805
営業費用	2,735,540,189	営業収益	1,281,072,923
汚水管渠費	58,061,423	下水道使用料	1,006,904,856
雨水管渠費	7,254,561	他会計負担金	273,389,683
流域下水道 維持管理負担金	497,141,968	その他営業収益	778,384
ポンプ場費	87,093,865	営業外収益	2,213,964,883
処理場費	82,814,086	受取利息及び配当金	301,643
普及促進費	46,240,632	他会計負担金	1,143,640,000
業務費	90,418,178	他会計補助金	166,200,000
総係費	94,598,382	県補助金	313,000
汚水減価償却費	1,307,262,411	長期前受金戻入	902,602,312
雨水減価償却費	454,544,507	雑収益	907,928
資産減耗費	10,110,176	特別利益	1,739,999
営業外費用	554,711,858	その他特別利益	1,739,999
支払利息及び 企業債取扱諸費	539,234,136		
雑支出	15,477,722		
当期純利益	206,525,758		
合計	3,496,777,805	合計	3,496,777,805

(単位 円)

(3)平成30年度伊勢市下水道事業貸借対照表		平成31年3月31日	
借 方		貸 方	
固 定 資 産	67,378,211,329	固 定 負 債	31,281,071,966
汚水有形固定資産	48,394,160,123	企 業 債	31,129,723,844
土 地	367,464,507	建設改良等企業債	31,129,723,844
立 木	3,119,863	引 当 金	151,348,122
建 物	1,148,687,505	退職給付引当金	151,348,122
減価償却累計額	△ 504,060,182	流 動 負 債	2,338,386,583
構 築 物	56,010,225,167	企 業 債	1,481,766,021
減価償却累計額	△ 10,547,343,890	建設改良等企業債	1,481,766,021
機 械 及 び 装 置	3,068,164,480	未 払 金	834,487,288
減価償却累計額	△ 2,158,294,219	営 業 未 払 金	216,829,142
車 両 運 搬 具	7,541,438	営 業 外 未 払 金	36,623,391
減価償却累計額	△ 5,777,487	そ の 他 未 払 金	581,034,755
工具、器具及び備品	25,063,526	預 り 金	1,065,801
減価償却累計額	△ 17,717,563	預 り 金	1,065,801
建設仮勘定	997,086,978	引 当 金	21,067,473
雨水有形固定資産	11,070,187,513	賞 与 引 当 金	17,673,301
土 地	1,026,091,801	法定福利費引当金	3,394,172
建 物	2,707,985,717	繰 延 収 益	28,074,006,492
減価償却累計額	△ 688,235,575	長 期 前 受 金	38,312,503,221
構 築 物	6,483,056,570	長 期 前 受 金	38,312,503,221
減価償却累計額	△ 1,560,973,393	長期前受金収益化累計額	△ 10,238,496,729
機 械 及 び 装 置	4,919,444,805	長期前受金収益化累計額	△ 10,238,496,729
減価償却累計額	△ 2,347,040,339	資 本 金	7,138,918,533
工具、器具及び備品	3,771,849	自 己 資 本 金	7,138,918,533
減価償却累計額	△ 2,688,556	固 有 資 本 金	5,302,967,247
建設仮勘定	528,774,634	組 入 資 本 金	1,835,951,286
汚水無形固定資産	7,913,863,693	剰 余 金	1,222,318,046
流域下水道施設利用権	7,868,751,473	資 本 剰 余 金	766,346,408
電 話 加 入 権	75,000	受 贈 財 産 評 価 額	138,083,020
ソ フ ト ウ ェ ア	45,037,220	他 会 計 負 担 金	282,198,153
流 動 資 産	2,676,490,291	周 辺 環 境 整 備 事 業 負 担 金	53,565,180
現 金 預 金	2,352,171,568	補 助 金	216,649,080
現 金	100,000	そ の 他 資 本 剰 余 金	75,850,975
預 金	2,352,071,568	利 益 剰 余 金	455,971,638
未 収 金	337,546,664	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	455,971,638
営 業 未 収 金	218,104,803		
営 業 外 未 収 金	97,432,999		
そ の 他 未 収 金	22,008,862		
貸 倒 引 当 金	△ 13,227,941		
貸 倒 引 当 金	△ 13,227,941		
合 計	70,054,701,620	合 計	70,054,701,620

## 5 令和元年度予算の概要と事業運営方針

本年度の下水道事業につきまして、現在の下水道への接続実績と流域関連公共下水道の供用区域拡大に伴う新規接続見込みを勘案し、排水戸数を24,486戸、年間総排水量を6,905千 $\text{m}^3$ 、一日平均排水量を18,867 $\text{m}^3$ と予定しました。

主な建設改良事業としましては、汚水管渠敷設事業、汚水管渠更新事業、処理場更新事業、雨水管渠敷設事業、雨水管渠更新事業、ポンプ場更新事業を予定しています。

財政収支の状況は、収益的収支におきまして消費税込みで、収入については下水道使用料等の営業収益1,418,019千円、他会計負担金、他会計補助金及び長期前受金戻入等の営業外収益2,312,372千円を合わせて下水道事業収益3,730,391千円を予定しています。支出については、事業運営に必要な職員給与、施設の維持管理費及び減価償却費等の営業費用2,980,499千円、企業債利息等の営業外費用542,444千円、予備費10,000千円を合わせて下水道事業費用3,532,943千円を予定しています。その結果、差引き消費税を除きますと30,890千円の純利益が生じる見込みです。

資本的収支におきましては、収入については流域関連公共下水道事業費に伴う企業債1,832,000千円、他会計負担金及び受益者負担金等として負担金365,134千円、国庫補助金1,082,700千円を合わせて資本的収入3,279,834千円を予定しています。支出については、年次計画に基づく流域関連公共下水道整備区域の汚水管渠整備、雨水管渠及びポンプ場の整備や更新、流域下水道建設負担金等建設改良費3,413,381千円、企業債償還金1,530,625千円、受益者負担金返還金550千円及び諸支出金1,000千円を合わせて資本的支出4,945,556千円を予定しています。以上の結果、資本的収支におきまして1,665,722千円の不足となる予定ですが、過年度分損益勘定留保資金等で補填する見込みです。

今後の運営は、流域関連公共下水道事業計画の推進と供用を開始した施設の維持管理等を抱え事業財政は厳しい状況ではありますが、下水道への接続率の向上及び下水道使用料の増収を図りながら更なる経費節減を行い効率的な事業運営に努め、市民サービスの向上、住環境の改善、公共用水域の水質保全に取り組んでいきます。

伊勢市告示第 22 号

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 260 条の 2 第 11 項の規定により、  
上地町中組から次のとおり変更の届出があったので、同条第 10 項の規定に  
より告示します。

令和元年 6 月 20 日

伊勢市長 鈴木 健 一

代表者の氏名及び住所

変更前	中 田 正 幸
	伊勢市上地町 1720 番地
変更後	山 口 千 代 己
	伊勢市上地町 1537 番地

伊勢市告示第 23 号

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 260 条の 2 第 11 項の規定により、川端町自治会から次のとおり変更の届出があったので、同条第 10 項の規定により告示します。

令和元年 6 月 20 日

伊勢市長 鈴木 健 一

代表者の氏名及び住所

変更前	伊 藤 弘
	伊勢市川端町 91 番地
変更後	佐々木 則行
	伊勢市川端町 70 番地

伊勢市告示第 24 号

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 27 条第 1 項の確認をしたので、同法第 41 条の規定に基づき、次のとおり告示します。

令和元年 6 月 20 日

伊勢市長 鈴木 健 一

1 確認の年月日

平成 31 年 4 月 1 日

2 確認を行った特定教育・保育施設

	設置者の名称	施設の名称	施設の所在地	施設の種類
1	社会福祉法人 洗心福社会	いせの杜保育 園	伊勢市大世古 4 丁目 2 番 13 号	保育所
2	学校法人 明倫 幼稚園	めいりんこど も園	伊勢市岡本 1 丁 目 18 番 65 号 伊勢市岡本 3 丁 目 1 番 20 号	幼保連携型認 定こども園
3	学校法人 中島 学園	中島こども園	伊勢市中島 2 丁 目 13 番 4 号	幼保連携型認 定こども園

伊勢市告示第 25 号

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 48 条の規定による同法第 29 条第 1 項の確認の辞退があったので、同法第 53 条の規定に基づき、次のとおり告示します。

令和元年 6 月 20 日

伊勢市長 鈴木 健 一

1 事業者の名称

学校法人 明倫幼稚園

2 事業所の名称及び所在地

小規模保育めいりん

伊勢市岡本 2 丁目 11 番 73 号 カーサ・ウッドスプリング 210 号室

3 確認の辞退の年月日

平成 31 年 3 月 31 日

4 事業の種類

小規模保育事業

伊勢市告示第 26 号

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 36 条の規定による同法第 27 条第 1 項の確認の辞退があったので、同法第 41 条の規定に基づき、次のとおり告示します。

令和元年 6 月 20 日

伊勢市長 鈴木 健 一

1 確認の辞退の年月日

平成 31 年 3 月 31 日

2 辞退した特定教育・保育施設

	設置者の名称	施設の名称	施設の所在地	施設の種類
1	伊勢市	伊勢市立大世古保育所	伊勢市大世古 4 丁目 2 番 13 号	保育所
2	学校法人 明倫幼稚園	明倫幼稚園	伊勢市岡本 1 丁目 18 番 65 号	幼稚園
3	学校法人 中島学園	中島幼稚園	伊勢市中島 2 丁目 13 番 4 号	幼稚園



伊勢市告示第 27 号

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 260 条の 2 第 11 項の規定により、桜が丘自治会から次のとおり変更の届出があったので、同条第 10 項の規定により告示します。

令和元年 6 月 25 日

伊勢市長 鈴木 健 一

代表者の氏名及び住所

変更前 山 口 浩 人

伊勢市中村町桜が丘 210 番地 2

変更後 植 田 秀 樹

伊勢市中村町桜が丘 100 番地 56

伊勢市告示第28号

地籍調査の実施について

国土調査法（昭和26年法律第180号）第6条の4第1項の規定により、地籍調査を実施するので、同法第7条の規定により、次のとおり告示します。

令和元年6月25日

伊勢市長 鈴木 健 一

1 事業計画が定められた年月日

令和元年5月27日

2 調査を実施する者の名称

伊勢市

3 調査地域

宮川1（宮川1丁目、宮川2丁目、中島1丁目、浦口1丁目、常磐1丁目及び御菌町高向）

河崎3（河崎3丁目、神久3丁目）

村松3（村松町）

4 調査期間

令和元年6月25日から令和2年3月31日まで

## 伊勢市告示第29号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号。以下「障害者総合支援法」という。）第51条の20第1項及び児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条の28第1項の規定により、指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者を指定したので、障害者総合支援法第51条の30第2項第1号及び児童福祉法第24条の37第1号の規定により、次のとおり告示します。

令和元年6月26日

伊勢市長 鈴木 健 一

### 記

- 1 事業者の名称及び主たる事務所の所在地  
名称 株式会社 ジェネラス  
所在地 愛知県名古屋市中区千代田二丁目16番28号グラシア2号館4階
- 2 事業所の名称及び所在地  
名称 相談支援事業所 ほたるいせ  
所在地 伊勢市小俣町湯田 794 番地10
- 3 指定の年月日  
令和元年6月1日
- 4 指定計画相談支援又は指定障害児相談支援の種類  
計画相談支援

障害児相談支援

5 事業の主たる対象者

特定無し

6 事業所番号

特定相談支援 2430800942

障害児相談支援 2470800224

伊勢市告示第 30 号

平成 31(2019)年度一般廃棄物処理実施計画を策定しましたので、伊勢市  
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例（平成 17 年伊勢市条例第 129 号）  
第 6 条第 1 項の規定により、次のとおり告示します。

令和元年 6 月 28 日

伊勢市長 鈴木 健 一

「次」は省略し、その関係書類を伊勢市環境生活部清掃課に備え置いて  
縦覧に供します。

## 伊勢市選挙管理委員会告示第3号

令和元年7月21日執行予定の参議院議員選挙区選出議員選挙において、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第175条第3項の規定により投票記載所の氏名等の掲示の掲載順序を定めるためのくじを行う日時及び場所を次のとおり定めましたので、公職選挙事務執行規程(平成7年三重県選管告示第5号)第85条の規定により告示します。

令和元年6月27日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 竜 田 節 夫

### 記

- 1 くじを行う日時 令和元年7月4日(木) 午後6時
- 2 くじを行う場所 伊勢市御薊町長屋1221番地  
御薊総合支所2階  
伊勢市選挙管理委員会室

伊勢市選挙管理委員会告示第4号

令和元年7月21日執行予定の参議院議員通常選挙における不在者投票用紙等の  
交付場所を次のとおり設置します。

令和元年6月27日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 竜 田 節 夫

記

- |   |                   |        |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 伊勢市御菌町長屋 1221 番地  | 御菌公民館  |
| 2 | 伊勢市二見町茶屋 420 番地 1 | 二見総合支所 |
| 3 | 伊勢市小俣町元町 540 番地   | 小俣公民館  |
| 4 | 伊勢市船江 1 丁目 471 番地 | ミタス伊勢  |

伊勢市選挙管理委員会告示第5号

令和元年7月21日執行予定の参議院議員通常選挙に伴い、令和元年6月15日以降同年7月21日までの間は、公職選挙法施行令（昭和25年政令第89号）第17条但し書の規定により、選挙人名簿の移替えを行わず、令和元年7月22日以後に延期します。

令和元年6月27日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 竜田節夫



伊勢市選挙管理委員会告示第6号

公職選挙法施行令第53条第1項及び第59条の4第3項の規定による不在者投票の投票用紙等を選挙期日の公示の前日に請求を受けた場合にあつて、郵便をもって発送する時は、選挙期日の公示の日の前々日からと定めます。

令和元年6月27日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 竜 田 節 夫

伊勢市選挙管理委員会告示第7号

令和元年7月21日執行予定の参議院議員通常選挙における伊勢市開票区の開票の日時及び場所を、下記のとおり定めます。

令和元年6月27日

伊勢市選挙管理委員会

委員長 竜田節夫

記

- 1 日 時 令和元年7月21日（日） 午後9時30分
- 2 場 所 伊勢市小俣町新村401番地1  
伊勢市小俣総合体育館

伊勢市公告第 13 号

農業振興地域の整備に関する法律（昭和 44 年法律第 58 号）第 13 条第 1 項の規定により、伊勢市農業振興地域整備計画を次のとおり変更しましたので公告します。

令和元年 6 月 20 日

伊勢市長 鈴木 健 一

「次」は省略し、伊勢市産業観光部農林水産課に備え置いて縦覧に供します。